

4月19日：買い優勢で週明けのベトナム株は新高値を更新

投資家心理に支えられ買い優勢となり、ベトナム株は新高値を更新した。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は1.77%（21.87ポイント）高の1,260.58ポイントで取引を終えた。

値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、297銘柄が上昇、126銘柄が下落。出来高は高水準を維持し、売買高は約8億1,710万株、売買代金は約19兆8,000億ドン（8億6,130万米ドル）となった。

「先週の急落からVN指数は急速に値を戻し、本日心理的節目である1,250ポイントを超えた」（BIDV証券）

「多くの投資資金がマーケットに流入した。値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回ってきており、強い状態を維持している。これは前向きな投資家心理を強く表している」（同証券会社）

「外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で売り越し続けた。しかし国内勢の安定した投資資金と過熱する投資家心理が伴い、今後VN指数は1,250～1,280ポイントのレンジで推移する可能性がある」（同証券会社）

外国人投資家はホーチミン市場でビナミルク（VNM）2,628億ドン、ビンホームズ（VHM）1,450億ドン、軍隊商業銀行（MBB）855億ドンといった計7,430億5,000万株を売り越した。またハノイ市場では134億3,000万ドンを売り越した。

VN30指数は2.3%（29.35ポイント）高の1,306.22ポイントで取引を終えた。

同指数の組入銘柄のうち、25銘柄が上昇、4銘柄のみ下落した。

銘柄別ではマサングループ（MSN）とファットダット不動産開発（PDR）はそれぞれストップ高をつけた。ホアファットグループ（HPG）、カンディエン不動産（KDH）は共に5%を超える上昇となった。

サコムバンク（STB）、ビンホームズ（VHM）、フーニュアン・ジュエリー（PNJ）は3%を超える上昇に。バオベトホールディングス（BVH）、テクコムバンク

(TCB)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、HD バンク (HDB)、SSI 証券 (SSI)、FPT (FPT)、ベトコムバンク (VCB)、TP バンク (TPB) はどれも 2% 高と買われた。

その反面、タインタインコン・ビエンホア製糖 (SBT) は VN30 指数の中では最も売られ、下落率は 1% を超えた。他にはビナミルク (VNM)、PV パワー (POW)、ペトロリメックス (PLX) も売られた。

ハノイ市場では、HNX 指数は 0.90% 安の 295.75 ポイントだった。

売買高は約 1 億 5,800 万株、売買代金は 2 兆 8,000 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。